平成31年度　　看護職員負担軽減計画書

目標　　看護職員が専門性を必要とする業務に専念できる環境つくり・看護サービスが提供できるよう役割分担や教育調整を行い
看護補助者と協働をする事での効果的な業務運営を図る。

平成31年3月28日作成

重点実施項目	具体的実施項目	取り組み計画	総合評価・次年度の課題
看護職員と他職種との業務分担	看護業務におけるコメディカル部門への業務移行検討	予定／実施　4月 5月 6月 7月 8月 9月 10月 11月 12月 1月 2月 3月 委員会開催時に移行可能な業務の検討	
看護補助者配置見直し	各病棟人員配置基準数クリア確認 実務上の必要人員配置数確認	予定／実施 毎月人員配置基準クリア確認 実務上必要配置数確認し必要時には求人	
妊娠・子育て中の看護職員に対する配慮	妊娠中の夜勤免除 子育て中の夜勤減免 育児短時間勤務	予定／実施 対象者に減免制度の説明し配慮する	
医療スタッフ一員としての教育訓練の充実 （参加率60%以上目標）	○病棟内勉強会・院内研修会・院外研修会の実施 ・医療安全管理 ・院内感染対策 ・医薬品安全管理、医療機器安全管理 ・行動制限最少化 ・上記必須研修以外の研修については教育委員会計画実施	予定／実施 参加率が目標に達しない場合、複数回開催	
看護チームの一員としての情報共有の体制	○看護職員及び看護補助者がお互いに質問しやすく意見を伝えやすい雰囲気作り ・その日の病棟全体の動き（入退院・転出入の予定） ・看護チームしての指示報告系統 ・患者の看護目標と状態の把握 ・看護ケアを提供する上での優先順位 ・看護ケア実践の上での留意点 ・看護ケア中または実施後の患者の状態や訴え	予定／実施 １）申送への参加をし情報の共有を行う ２）リーダー的役割を配置し、看護職員との情報交換をする。 ３）聴く情報と知る視る情報の充実を図る。（カーデックス等の利用）	
委員会の定期開催	○病棟間・他部門との連携 ・病棟間での情報共有　（看護長会の活用） ・他部門との業務の連携調整 ・他部門との情報の共有	予定／実施 １）年２回の委員会と年度末の評価委員会の開催 ２）現状での報告を行い協力体制を図れる様調整する。	